

## 令和5年度

1

### 【テーマ】

#### 「SDGsについて」

最近、SDGsという言葉をよく耳にするようになりました。みなさんは、SDGsって何のことかご存じですか？

SDGsとは、日本語では「持続可能な開発目標」と言い、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「だれ一人取り残さない」ことを誓っています。

誰一人取り残さない持続可能なまちをつくるためには、区の実践のみでは十分でなく、区民や事業者、地域団体、教育機関など、多様な主体との連携が必要不可欠です。区は、「大田区公民連携基本指針」に基づき、あらゆる機会を活用して、SDGsに関する情報発信や区のSDGsに対する取組姿勢のアピールなどを行い、大田区全体でSDGsに取り組む機運を醸成し、多様な主体との連携によりSDGsの達成を目指します。

大田区はSDGsの達成に向けて優れた取組を提案する都市として、内閣府から2023年度の「SDGs未来都市」に選定されるとともに、その中でも特に優れた先導的な取組を行う「自治体SDGsモデル事業」に選定されました。

このことを受け、大田区役所本庁舎にSDGs未来都市のPRステッカーを掲示しています。なお、SDGsの理念を踏まえ、ステッカーには植物由来の環境にやさしい素材を使用しています。ステッカーは本庁舎の正面入口、1階エレベーターホール手前上部、1階北側窓口、本庁舎裏側に掲示しています。区役所にお立ち寄りの際は、是非ご覧ください。

## 【テーマ】

「母がハマっていること」

うちの母はいわゆる「新し物好き」です。スーパーで「新発売」の文字を見ると、買わずにはいられません。よく言えば「前向き」、悪く言えば「飽きっぽい」。石橋を叩いて渡る私とは正反対の性格で、いつも何か新しいことに挑戦しては辞めて、また違うことに挑戦する、の繰り返しです。私たち家族はいつも、よくそんなにいろんなことに興味が持てるな〜と、感心しながらもあきれて見えています。

そんな母が珍しく続けているのが手話です。3年前、区報で手話講習会受講生募集のお知らせを見つけ、迷わず応募しました。父も弟も、もちろん私も、どうせすぐ辞めてまた違うことを始めるだろうと思っていたのですが、意外にも毎週休まず通い続けています。本人は手話通訳を目指すぐらいの気持ちでいるのかもしれませんが、どうも実力は伴っていないようです。私に「会話の練習をしよう」と言って、習ってきた手話を教えてくれようとするのですが、習ったはずの手話がなかなか出てこず、「覚えられない」と頭を抱えてしまうありさまです。

こんなに出来ないのに、なぜ毎週休まずに通うのか、不思議に思って母に聞いてみたことがあります。母は「だって面白いんだもん」と即答。「何が面白いの？」と聞くと「表情豊かな聴こえない人たちの手話は、見ているだけでとても魅力的なのよ」ととても楽しそうに言います。少し意地悪して「手話が覚えられなくても聴こえない人たちの手話はわかるの？」と聞いたら、母は笑いながら「ほとんどわからないわ。聴こえない人と交流するのは本当に大変。でも、いろいろ考えて、話しが通じたときは『やったー！』と叫びたくなるぐらい嬉しい」と。

何事にも慎重派の私ですが、母の楽しそうな様子を見て、そんなに魅力的な手話なら、私もやってみようかな、と言う気持ちが心の中に少し芽生え始めています。